

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



積み重ねてきた練習が少しずつ

最近、目に見えて姿勢のいい子が増えてきました。

それは、本当にふとした時に感じられます。はっきりと。

「いい姿勢にしようね」と言えばほぼ難なく達成されることですが、教師の声掛けなくその状態が達成されるまでには、やはり時間がかかります。

その成長の芽吹きを、最近感じるが増えてきました。

無理にその姿勢を作っているというより、自然と腰骨が立っている美しい姿勢が無意識に出来る子が多数派になってきた印象です。

美しい姿勢をキープできることは、数々の素晴らしい影響を学習にもたらします。

先日も各教室を周っている時に、成長が感じられた瞬間を目にしたので遠目からそっと写真を撮りました。2組の写真です。



ちなみに、鉛筆の持ち方も毎日練習を続けています。

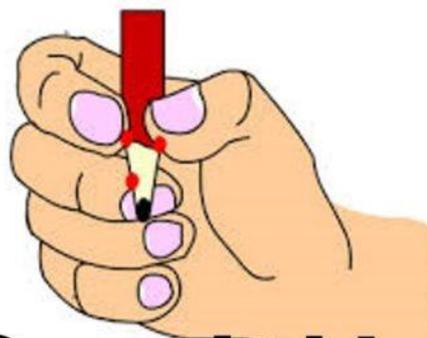
朝のモジュールの15分間、持ち方の補助具をつけつつ、心を落ち着けて字を書く時間をとっています。

こちら、しっかり習慣化されるまでは一定の期間が必要です。

参考までに目指しているフォームをもう一度図解で紹介しておきます。

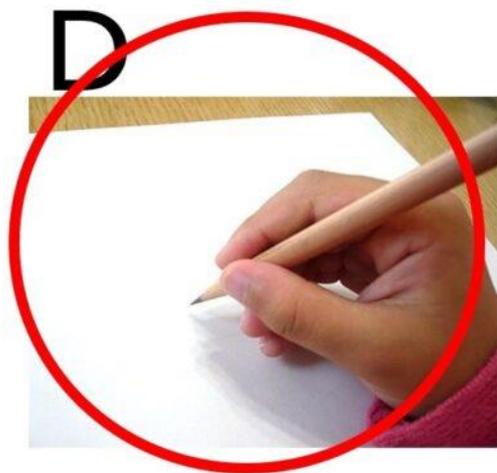
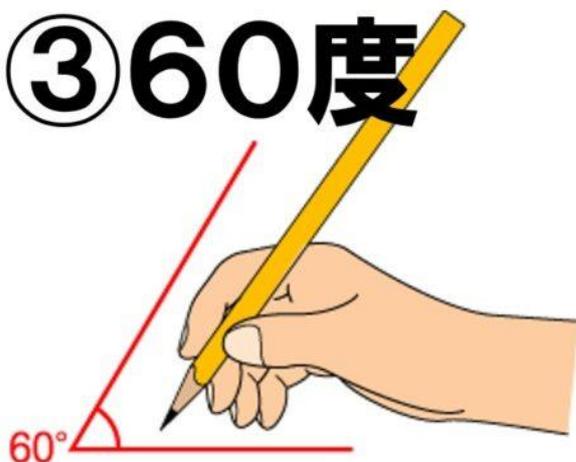
三本の指で支えつつ、ほどよく力が抜けた証である「天使の輪」ができれば合格です。

① 天使の輪



② 三点持ち

③ 60度



また、最近「読み方」にも顕著な変化が生まれてきました。

テキストの持ち方、声の出し方、リズム、テンポなどなど。

これは、写真では無理なので、3組で試験的に映像を取ってみました。(一部切れてしまっていたりカメラがぶれていてすいません。今度は専門家の方に撮りに来てもらおうと思っています。)

<https://drive.google.com/drive/folders/1O11NTNe8dJkpn4uO1NmJnZ45q2GF2OtH?usp=sharing>

いわゆるこれが「動く通信」なのですが、もしこうした記事が好評ならば、学校の色々な場面を切り取って紹介していこうと思っています。

「姿勢」も「持ち方」も「読み方」も、伝え続けていくことはかなりの根気を要しますが、大切な事だからこそ点ではなく線の指導で向き合っていきたいと思います。

ご家庭でも“芽吹きの間”が見えた時は、教えて頂けると嬉しいです。
(文責：渡辺道治)

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)